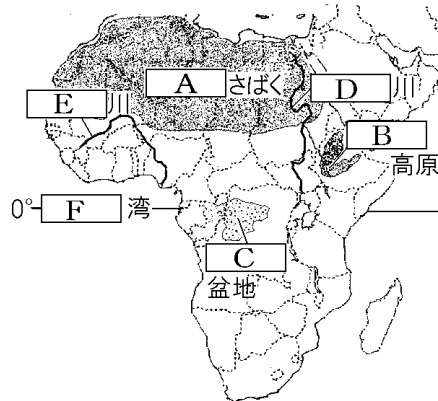


第 6 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.01
	アフリカ			

[問題 1]

地図中の A～F の地形名を、次から 1 つずつ選べ。

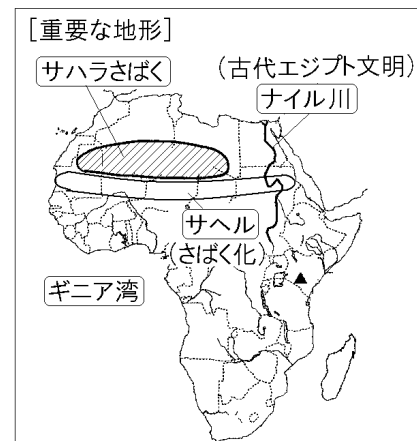
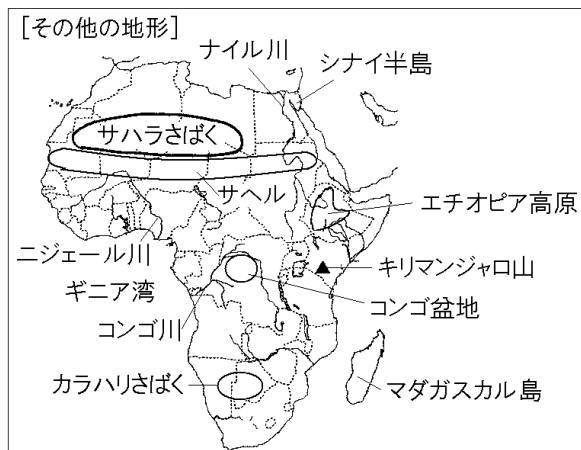
[エチオピア ギニア ニジェール サハラ コンゴ ナイル]



[解答欄]

A サハラ	さばく	B エチオピア	高原	C コンゴ	盆地
D ナイル	川	E ニジェール	川	F ギニア	湾

[解説]



[解説]

エジプトを流れるナイル川は長さが世界一の河川である。その流域では、かつて、エジプト文明が栄えた。

アフリカ大陸北部に広がるサハラ砂漠は世界最大である。

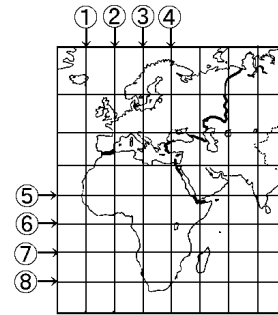
サハラ砂漠の南側を東西に細長くのびる乾燥地域をサヘルという。地球規模での気候変動に加え、人口増加にともなう家畜の過剰放牧、ゆきすぎた焼畑や過剰耕作などにより、緑の生育を上回るスピードで人間や家畜が緑を消費してしまうことで、大地が不毛の土地になる砂漠化が進行した。

ギニア湾の沿岸部ではかつて、ヨーロッパ人が進出し、奴隷・金・象牙・穀物などが取り引きされた。

[問題 2]

右図で赤道と本初子午線を示している線はどれか。

図中の①～⑧のうちから、最も適当なものをそれぞれ
1 つずつ選び、その番号を書け。

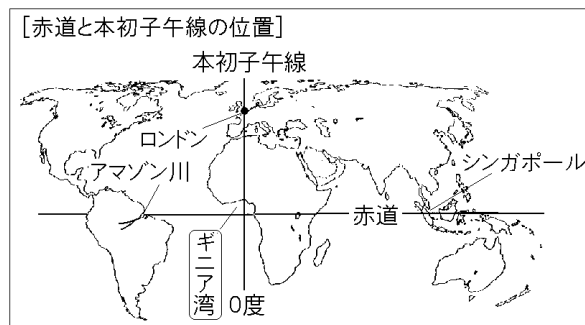


[解答欄]

赤道：⑥

本初子午線：②

[解説]



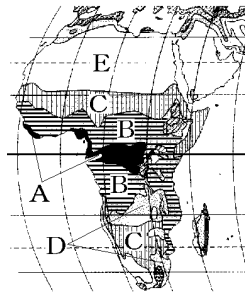
赤道は南アメリカ大陸のアマゾン川流域、アフリカ大陸のギニア湾、東南アジアのシンガポール付近を通っている。

経線の基準となる経度 0 度の線(本初子午線)は、アフリカでは、ギニア湾を通っている。

[問題 3]

下の図の A～E の示す気候区を下の[]からそれぞれ選べ。

[サバナ気候 ステップ気候 地中海性気候 熱帯雨林気候 さばく気候 温帯湿潤気候]



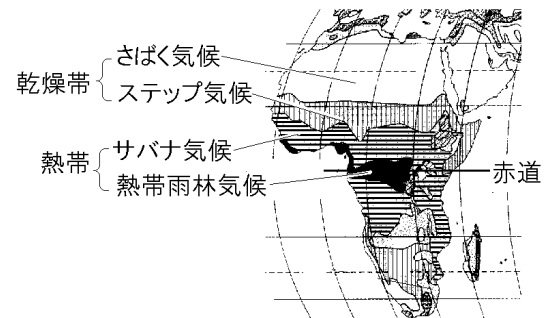
[解答欄]

A 熱帯雨林気候	B サバナ気候	C ステップ気候
D 温帯湿潤気候	E さばく気候	

[解説 1]

赤道直下は、熱帯の中でも 1 年中雨が多い**熱帯雨林気候**になっている。その周辺の熱帯の地域は、雨季と乾季がある**サバナ気候**となっている。

乾燥帯には、サヘルのようにわずかに雨が降り草原が広がる**ステップ気候**と、雨がほとんど降らない**砂漠気候**がある。



[解説 2]



アフリカの気候帯は赤道を中心として南北に対称に分布している。すなわち、**熱帯(赤道付近)→乾燥帯(サハラ砂漠など)→温帯(地中海沿岸など)**と順に規則正しく分布している。

アフリカではギニア湾付近を赤道が通っている。赤道周辺の気候は**熱帯**である。赤道直下では、強い日射であたためられた空気が上昇気流となるため、雲が発生しやすく、年中雨が多い。

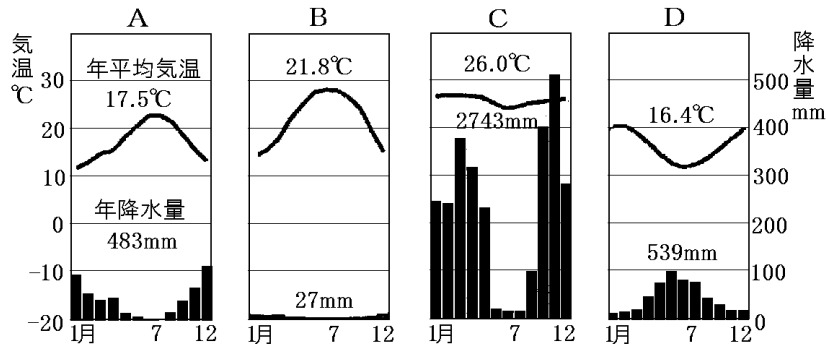
赤道付近で上昇した空気は高緯度に向かって移動し、北回帰線(南回帰線)付近(23.4 度)で下降する。

下降気流があるところでは雲は消えて雨はほとんど降らない。そのため回帰線付近ではほとんど雨が降らないさばくになっている。アフリカでは北回帰線付近にはサハラさばくが広がっている。

アフリカ北西部の地中海沿岸は温帯(地中海性気候)になっている。

[問題 4]

次の各問いに答えよ。



- (1) 上の雨温図 A～D は、地図中のア～エの 4 都市の気温と降水量をあらわしている。地図中のア～エにあたるものを A～D から 1 つずつ選べ。
- (2) 雨温図 A～D で、同じ気候帯に属するものを選び、記号で答えよ。また、その気候帯名も答えよ。

[解答欄]

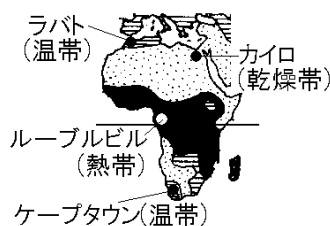
(1) ア D	イ C	ウ A	エ B
(2) A と D、温帯			

[解説]

アはケープタウンで温帯、イは赤道直下なので熱帯、ウは温帯の地中海性気候、エはカイロで乾燥帯
雨温図で、B は年間降水量が極端に少ないことから乾燥帯(エ)の気候だとわかる。

C は最寒月の気温が 18℃以上なので熱帯(イ)と判断できる。A と D は最寒月の気温が -3℃～18℃の間に
入っているので温帯(ア、ウ)と判断できる。

そのうちの D の気温のグラフが U 字型になっている(7 月ごろが冬)ことから、D は南半球アの雨温図で
あると判断できる。



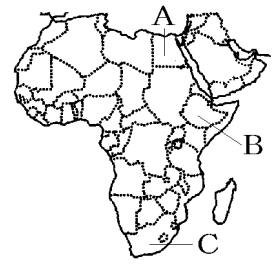
[雨温図の判断]

- ・まず、乾燥帯、寒帯かどうかを判断
 - 乾燥帯：降水量が少ない
 - 寒帯：最暖月 10℃未満
- ↓
- ・熱帯、温帯、冷帯は最寒月に注目
 - 熱帯：最寒月 18℃以上
 - 温帯：最寒月 -3℃～18℃
 - 冷帯：最寒月 -3℃未満

[問題 5]

イギリスやフランスはアフリカやアジアへ進出し、やがてそれらの地域にあった国々を自国の支配下におさめていった。

- (1) このような支配された地域や国々を何とよぶか。
- (2) 地図中の A～C の中で(1)にならなかった国はどれか。
1 つ選べ。
- (3) このような地域で行われた大規模な農園を何とよぶか。



[解答欄]

(1) 植民地	(2) B	(3) プランテーション
---------	-------	--------------

[解説]

(2)植民地にならなかったのはエチオピア(B)とリベリアである。(3)植民地時代にヨーロッパ人が特定の商品作物(カカオなど)を栽培して輸出する大農園(プランテーション)を開いた。



[問題 6]

アフリカ諸国が植民地とされていた影響を次のア～エから 2 つ選べ。

- ア 民族が分断され争いの原因となっている。
- イ 旧宗主国の援助で経済が豊かになった。
- ウ 直線で引かれた国境線が残っている。
- エ 紛争は旧宗主国の武力で解決している。

[解答欄]

ア、ウ

[解説]

アフリカでは 5000 年前にはエジプト文明が栄えた。しかし、16 世紀以降、ヨーロッパ人が千数百万人ともいわれる黒人を奴隷として南アメリカや北アメリカに連れ去った。19 世紀末までに、エチオピアとリベリアを除くアフリカの全域が、ヨーロッパ諸国(とくにイギリスとフランス)の植民地となった。1950 年代以降、これらの植民地は次々と独立したが、現在でも植民地時代の影響が残っている。すなわち、

- ①植民地時代の旧本国の言葉(英語やフランス語など)を公用語としている国が多い。
- ②一部の地域でキリスト教が信仰されている。(北アフリカではおもにイスラム教が信仰されている)
- ③植民地時代に引かれた国境線が民族の境界線と合わないところでは、複数の民族からなる国や国境線によって分断された民族が多く、民族間の対立の原因になっている。

また、アフリカ大陸には直線的な国境線が多いが、これは、ヨーロッパ諸国が植民地として支配したときに、経線や緯線によって支配地域を分割したなごりである。

[かつて、ヨーロッパ諸国の植民地]

黒人を(奴隷)として南米や北米に輸出
イギリス、フランスなどの(植民地)に

↓
影響・(公用語)として英語やフランス語、
キリスト教

・民族分布と異なる国境線→民族間の対立

[アフリカの宗教]

